

【総評】1次募集

実施体制・役割分担

- 連携する団体等を羅列するだけの提案が見受けられたが、核・軸となる団体を中心に役割分担を明確にし、本事業を契機に連携する意義、各関係者が取組に与える相乗効果、事業終了後の更なる連携強化が伝わる事業を評価した。
- 取組の内容や規模感を踏まえて、組織間のスムーズな連携が図られるか、事業効果を高めるために他に参画を促す関係者はいないかなど実現可能性を念頭に置く必要がある。

骨太の方向性・ストーリー性

- 取組の意義が抽象的な提案が見受けられたが、その地域ならではの自然環境やそこに根付く産業や文化などを前提として、その地域で取り組む意義や社会的要請も踏まえて、今回の事業がその地域に貢献できるかという点を評価した。
- 地域の課題を踏まえ、これまで及び本事業での取組、今後の展望までを含め一貫して考え、その地域で実施する理由と方策を明確にしてほしい。

新規性・独自性

- 流行のテーマに合わせただけで他地域との差別化が図られていない提案が見受けられたが、地域が本来持っている資源や個性、これまでの取組を活かしつつ、これまでできてこなかった事業連携を図ることで新たな価値を付加するような取組を評価した。

具体性及び計画性

- 抽象論で終わる提案が見受けられたが、現状を改善すべく明確なゴールを定めた上で、取り組む内容を行動レベルまで具体的に落とし込み、段階的な成果も意識しつつ最終的な達成目標を見据えて個々の取組における狙いや手法が具体的な事業を評価した。

効果及び継続性

- 顧客ターゲットを明確化するとともに、事業効果を最大化するためには持続的な取組が必要であることから、次年度以降の自走化を見据えた取組を評価した。
- 関係する組織間の連携強化に留まらず、地域内での人づくりや新しい観光の担い手育成まで意識してほしい。

「新しい生活様式」の実践

- 業種別感染拡大予防ガイドラインの遵守に加えて、取組内容に応じた実効性ある感染症対策を検討し、取組を通じて感染症対策のPDCAをどのようにして回すのかという点を評価した。
- 地域で感染症対策に関してどのように合意形成を図り、取組における実効性を高めるのかについても注目した。